

平成 25 年 5 月 23 日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

## 5 月 23 日の弊社投資信託の基準価額の下落について

### ◆ 足許の市場動向

5 月 23 日の日本株市場は、円安の進行等が好感され、日経平均株価、TOPIX(東証株価指数)ともに年初来高値を更新する堅調な展開で始まりましたが、英金融大手のHSBCが発表した5月の中国PMI(製造業購買担当者景気指数)速報値が49.6と、4月の50.4から低下し、市場予想平均も下回ったことを受けたアジア株安などが嫌気され、前引け直前から急速に下げ足を早める展開となりました。

後場にかけても、米ドル(対円)レートが一時101円台に乗せるなど円高の展開となったこと等をきっかけに急速に下げ足を早める展開となり、日経平均株価は1,143.28円マイナス(▲7.3%)の14,483.98円、TOPIX(東証株価指数)は87.69ポイント下落(▲6.87%)の1,188.34ポイントで終わりました。

業種別東証株価指数は33業種全てがマイナスとなり、長期金利の上昇傾向を背景に、不動産関連や金融関連業種が下落率上位に並ぶ展開となりました。

### ◆ 今後の見通し

本日の株式市場の大幅な調整については、4月末から昨日までの急速な上昇[日経平均株価で+12.7%、TOPIX(東証株価指数)で+9.5%]の反動が主因であると考えられます。東証1部の平均PER(株価収益率)は、アナリストコンセンサスベースで16倍程度(5月23日時点)まで低下したと推測され、過去比較で過熱感のない水準と思われる。

引き続き、中国の景気動向や米連邦準備理事会(FRB)の出口戦略等への注意を払う必要がありますが、足許の為替水準等を前提とすれば、企業業績は上方修正基調を辿る可能性が高いと思われることから、株式市場の混乱は長期化しないものと考えられます。

◆ 弊社投資信託への影響

ファンド名	平成 25 年 5 月 22 日 基準価額 (円)	平成 25 年 5 月 23 日 基準価額 (円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
アクティブ バリュ어 オープン	13,397	12,516	▲881	▲6.58
大同リサーチ&アクティブオープン	9,617	8,970	▲647	▲6.73
日本株ロボット運用投信	11,969	11,365	▲604	▲5.05
2 2 5 I D X オープン	15,867	14,708	▲1,159	▲7.30
2 2 5 インデックスファンド	3,598	3,337	▲261	▲7.25

◆ 市況情報

(小数点第2位以下四捨五入)

	平成 25 年 5 月 22 日	平成 25 年 5 月 23 日	騰落率(%)
TOPIX(東証株価指数)	1,276.03	1,188.34	▲6.87
日経平均株価	15,627.26	14,483.98	▲7.32

出所:東京証券取引所、日本経済新聞社

※文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。

※ 当資料は投資者にT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の購入をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

## 投資信託のお申込みに際してのご留意事項

### 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

### 投資信託に係る費用について

#### ◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・**上限 4.2%(税込)**

信託財産留保額・・・**上限 0.6%**

#### ◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・**上限 1.995%(税込)**

その他費用・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、予めその料率、上限額等を具体的に示すことができません。

※当該手数料等の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。